

# パラリンピアンに学ぼう 大崎小学校で特別講演！



2月8日(土)、大崎小学校体育館において、『パラリンピックを知り、生き方を学ぶ会』と題し、パラリンピック陸上400メートル日本記録保持者池田樹生<sup>いけだみきお</sup>さんを招いた講演会と義足体験が行われました。

これは、オリンピック・パラリンピック推進校である大崎小学校の主催で開催され、2年生から6年生の約270名が参加しました。

池田選手は、右腕と右足に先天性の障害がある方です。小学校では野球やサッカーを経験し、中学校ではバスケットボール部に所属、高校から陸上を始め、大学進学後のジャパンパラリンピック競技大会で日本記録を樹立されました。現在は、東京パラリンピック出場とメダル獲得を目指されています。

講演で「何かできないことがあると障害のせいにしてそれを逃げ道にしていました。しかし、スポーツと出会い変わりました。工夫をすることで健常者と同じことができるようになったからです」と自身の少年時代を振り返った池田選手はさらに「つらいことがあっても夢があれば苦しいことにも耐えられるし、頑張れる」と子どもたちに向け、目標を持つことの大切さを熱心に話されました。

また、子どもたちはそんな池田選手の講演を真剣に聞き入る様子が見られました。

今回のパラリンピアンとの交流・ふれ合いをとおして子どもたちは、自分の将来について夢や希望を持つことの意味を知ることや、障害のある方など多様性に関する理解も深めるきっかけになったのではないのでしょうか。



## 【義足体験の様子】



## ■プロフィール:池田 樹生 さん(23歳)

1996年12月16日生まれ。愛知県出身。右足のひざ下と右腕のひじから先、左手の指が2本ない先天性の障害がありながら、高校からパラ陸上を始め、大学進学後の2016年にジャパンパラリンピック競技大会の400mで57秒40の日本記録を樹立。

